

取扱いの趣旨

半肢の大部又は頭部、頸部及び顔面の大部以上にわたる範囲のもの以外の狭い範囲の湿布処置は、第1章基本診療料に含まれるものであり、手足（片側）等に対する算定は、原則として認められない。

支払基金が公表している取扱いの全文

【処置】

《令和6年10月31日》

350 肩関節等に対する湿布処置の算定について

○ 取扱い

① 次の部位に対するJ119消炎鎮痛等処置「3」湿布処置の算定は、原則として認められる。

- (1)肩関節
- (2)肘関節
- (3)股関節
- (4)膝関節

② 次の部位に対するJ119消炎鎮痛等処置「3」湿布処置の算定は、原則として認められない。

- (1)手足（片側）
- (2)手指（片側）
- (3)足趾（片側）

○ 取扱いを作成した根拠等

J119消炎鎮痛等処置「3」湿布処置については、厚生労働省通知※に「「3」の対象となる湿布処置は、半肢の大部又は頭部、頸部及び顔面の大部以上にわたる範囲のものについて算定するものであり、それ以外の狭い範囲の湿布処置は、第1章基本診療料に含まれるものであり、湿布処置を算定することはできない。」と示されている。①の部位に対する処置範囲は、当該通知内であり、②の部位に対する処置範囲は第1章基本診療料に含まれるものと判断する。

以上のことから、①の部位に対するJ119消炎鎮痛等処置「3」湿布処置の算定は原則として認められ、②の部位に対するJ119消炎鎮痛等処置「3」湿布処置の算定は、原則として認められないと判断した。

（※）診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について

グラフの見方

1 棒グラフ(該当レセプトの審査結果)

当該事例の取扱いの対象となる診療行為（医薬品、特定器材）を算定している目視対象レセプト
1万件当たり、取扱いの趣旨に該当するレセプト件数

2 折れ線グラフ

取扱いの趣旨に該当するレセプトのうち、
査定・返戻となった割合

【棒グラフ凡例】 審査の結果

査定	返戻	: 取扱いどおり
請求どおり 職員	請求どおり 審査委員	: 検証が必要

審査結果の概要

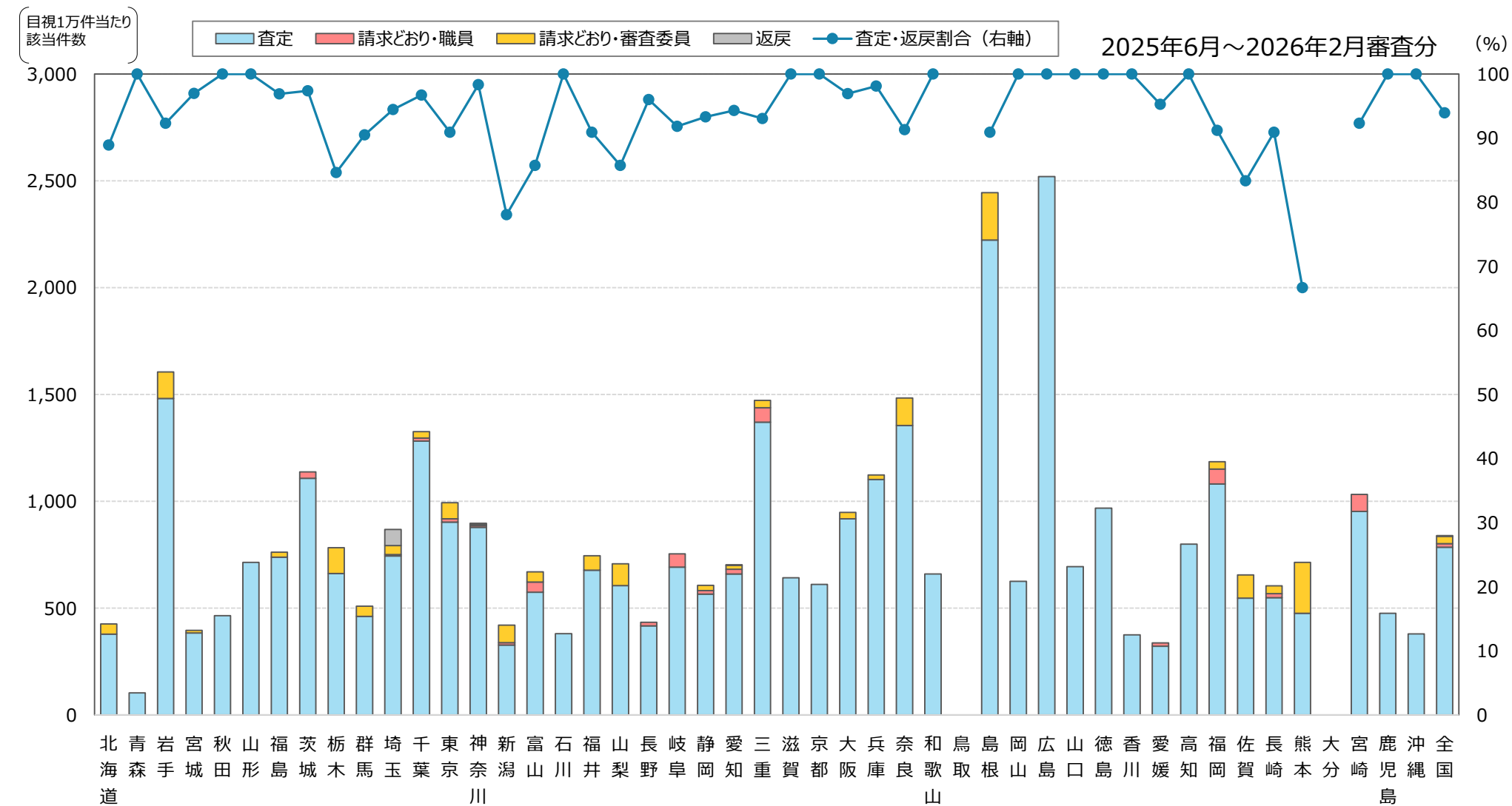
- 全国の査定・返戻割合 93.93%
- 検証対象都道府県 4

検証観点	都道府県	備考
査定・返戻割合が低い	新潟、佐賀、富山、山梨	査定・返戻割合の低い順
請求どおり・職員	富山、新潟	対象1万件当たり件数の多い順
請求どおり・審査委員	佐賀、山梨、新潟、富山	//

該当件数（全国）	【条件】	2,933件
取扱いに基づく審査	査定・返戻の計	2,755件
検証を必要とする審査	請求どおり	178件

一般350 手足（片側）等に対する消炎鎮痛等処置（湿布処置）の取扱い

【認めない事例】



【該当件数】 取扱いの趣旨に該当したレセプト件数